



香川ハンドセラピー研究会 主催

第3回スプリントセミナー

『末梢神経障害』

- 会 期：平成29年3月12日（日）9:00～17:00（受付開始 8:30～）
- 会 場：総合病院回生病院 新館5階 大会議室（〒762-0007 香川県坂出市室町3-5-28）
- 研修内容：末梢神経障害に対する基礎的知識の習得と代表的な3種類のスプリントの作製実習を通し、スプリント加工技術の向上を目指します。
- 受講費：8,000円（※テキスト代とスプリント作製に必要な材料費を含んでおります）
- 定 員：40名（※先着順）
- 申し込み方法：メール件名に「第3回スプリントセミナー受講申し込み」と明記いただき、
①氏名②所属施設③所属住所④連絡先アドレス⑤職種（経験年数）を記載し、必ず返信が可能な個人メールアドレスを用いてメールにて下記事務局までお申し込み下さい。
定員に達し次第締め切らせていただきますので、できるだけお早めにお申し込み下さい。
- お問い合わせ先：香川ハンドセラピー研究会事務局 E-mail：kagawa.handtherapy@gmail.com

□プログラム（※午前の部：講義形式、午後の部：各種スプリントの作製実習）

8:30～9:00	受付・開会
9:00～9:30	基礎知識 ：末梢神経の機能解剖 仁木 隆之（香川大学医学部附属病院） 末梢神経の構造や生理、損傷分類とその再生過程について基礎的な内容を復習する。
9:40～10:20	評価と訓練① ：運動機能評価と神経筋再教育 三木 聖子（総合病院回生病院） 絞扼性神経障害の誘発テストや冠名サインなどのスクリーニング検査や筋力評価について解説する。
10:30～11:10	評価と訓練② ：知覚機能評価と知覚再教育 神田 智明（総合病院回生病院） 一連の知覚検査に関する臨床的意義と方法、知覚再教育訓練や脱感作訓練について解説する。
11:20～12:00	疾患概論 ：末梢神経障害の臨床像 久保潤一郎（香川大学医学部附属病院） 臨床で遭遇しやすい上肢の末梢神経障害を絞扼性と外傷性に分け、実際の臨床像を解説する。
12:00～13:00	昼休憩
13:00～13:30	ハンドセラピー ：末梢神経障害のスプリント療法 石井 誠二（総合病院回生病院） 上肢の末梢神経障害による手の変形・拘縮に対するスプリント療法について、事例を通して紹介する。
13:30～14:30 (30分×2)	作製実習① ：短対立スプリント 正中神経麻痺による猿手（母指対立運動障害）に対して使用するスプリントの作製を行う。
14:30～15:00 (15分×2)	作製実習② ：虫様筋カフ 尺骨神経麻痺による鉤爪指変形（手内在筋の麻痺）に対して使用するスプリントの作製を行う。
15:00～17:00 (60分×2)	作製実習③ ：カックアップスプリント（掌側型） 橈骨神経麻痺による下垂手（手関節伸筋群の麻痺）に対して使用するスプリントの作製を行う。
17:00	閉会

主催：香川ハンドセラピー研究会